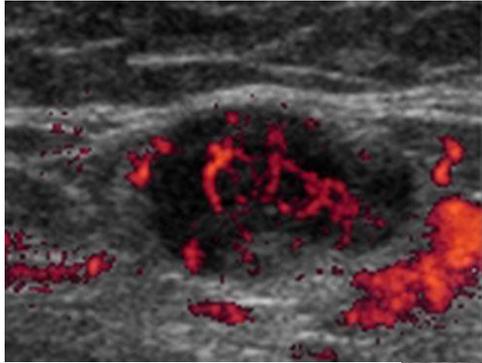


画像診断の進歩が治療法を変える！

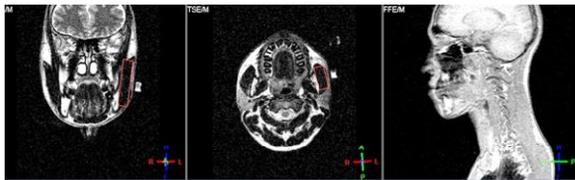
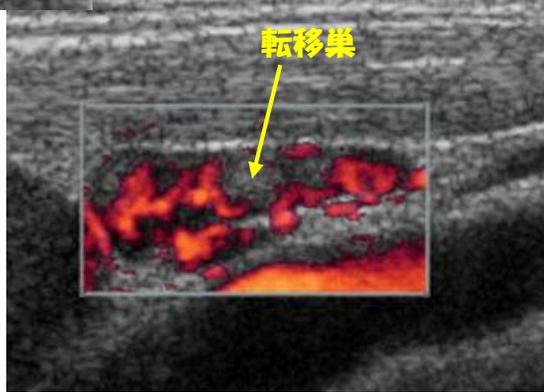
新しい画像診断基準の構築を目指して、
いっしょに研究をしよう。
そして、新しい治療法創成の礎を作ろう



リンパ節内の血流の描出

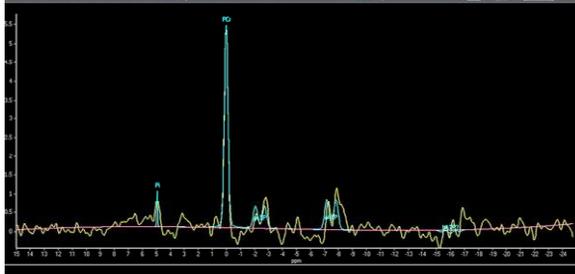
超音波ドプラー法による微小転移巣の検出

リンパ節内の微細な血流分布を描出し、非常に初期の転移を診断する基準を構築
→ 微小転移巣の検出が可能となれば、頸部郭清術以外のより非侵襲的な治療法の開発が期待される。

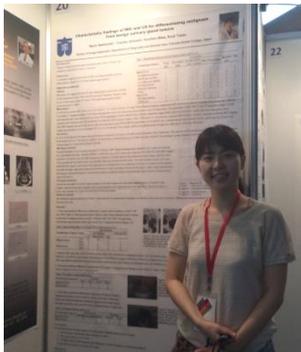


MRIによる咬筋のエネルギー代謝の分析

MRIは病変の形態を診断のみならず生理的变化を診断できる。
→ フラキシズム習癖の新たな診断法の開発、そして治療へ



咬筋内のリン酸化合物の変化の測定



バリで開催された国際学会で発表する大学院生の橋本麻利江君

画像診断学分野